

職業能力開発研究

第 24 卷

2006年

論 文

- | | |
|------------------------------------|-------------------------------|
| 日本の職業教育に於ける生産実習の系譜 | 大川 時夫
堤 一郎 |
| 鉄道寮・工技生養成所の教育訓練カリキュラムと修了生の活躍 | 堤 一郎
寺町 康昌
佐野 茂
梶 信藤 |
| 労働の成果の帰属における民法と知的財産法 | 櫻井 博行
本多 浩 |

資 料

- | | |
|--|-------|
| 職業能力開発施設（機構内）における人材ニーズ調査結果
（平成15年度報告）の集約と調査方法に関する評価 | 小堀 勝幸 |
|--|-------|

紹介又は解説

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 訓練効果の評価について | 能美 英生
藤村 伸治 |
| - 訓練コースの評価についての経過報告 - | |

「職業能力開発研究」誌投稿規定

【投稿規定】

原則として職業能力開発総合大学校の教職員に限る。共同執筆者は学外者であってもよい。

【投稿の種類】

職業能力開発に関する論文、研究ノート、資料、紹介又は解説とする。原則として、他紙に掲載されたものを重複して投稿できない。

【原稿の長さ】

論文、研究ノート、資料、紹介又は解説のいずれにおいても400字詰原稿用紙約50枚(図表含む)を標準とする。英文抄録をつける。

【投稿、採択、校正】

投稿原稿は「職業能力開発研究」編集専門部会事務局宛に提出する。原稿の受付には年1回とし、締切日は別に定める。原稿の採否は編集専門部会で決定し、投稿者に通知する。査読の結果、修正を要する場合は速やかに修正のうえ、再提出して審査を受けなければならない。校正は業者が3回まで行い、それ以降は編集専門部会に一任する。掲載された原稿は返却しない。

【執筆規定】

1. 本文：A4縦置き、1行文字数40文字、1ページ35行、枚数は、14枚が標準とすること。
 2. 英文抄録：200語以内とする。
 3. 図表(写真を含む)：1つの図表ごとに別紙を用いる。図表は白紙(又は淡い方眼紙)にトレース又は、プリンタ、プロッタ等で作成し、できあがり時の寸法を記すこと。
 4. 文献：本文の最後に列記する。書き方は下記による。
雑誌 = 著者名、表題、雑誌名、巻(号)、発行年(西暦)、引用ページ
書籍 = 著者あるいは編者名、書名、発行所、発行年(西暦)、引用ページ
 5. 用字・用語：現代かなづかいとする。アラビア数字を使うこと。
-

職業能力開発研究

第 24 卷

目 次

論 文

日本の職業教育に於ける生産実習の系譜	大 川 時 夫 1
	堤 一 郎
鉄道寮・工技生養成所の教育訓練カリキュラムと修了生の活躍...	堤 一 郎 11
	寺 町 康 昌
	佐 野 茂
	梶 信 藤
労働の成果の帰属における民法と知的財産法	櫻 井 博 行 19
	本 多 浩

資 料

職業能力開発施設（機構内）における人材ニーズ調査結果	小 堀 勝 幸 33
（平成15年度報告）の集約と調査方法に関する評価	

紹介又は解説

訓練効果の評価について	能 美 英 生 59
- 訓練コースの評価についての経過報告 -	藤 村 伸 治